

<行事等について>

- ・10月5日(土)にすみれぐみ・ひまわりぐみ・ゆりぐみの運動会を行います。詳細については手紙をご確認ください。
- ・11月1日(金)にすみれぐみ・ひまわりぐみ・ゆりぐみの秋の遠足を予定しています。12日(火)にたんぽぽぐみ・ちゅうりっぷぐみ・ひよこぐみの秋の遠足を予定しています。詳細が決まりましたら手紙を配布いたします。
- ・11月16日(土)に保育参観日を予定しています。詳細が決まりましたら手紙を配布いたします。

【 お知らせ 】

10月1日(火)に在園の継続申し込み(2号・3号認定)に関わる書類を配布します。配布された書類を確認して不足しているもの、必要なものがあればお知らせください。封筒の中に提出に関する福祉課からのお知らせ等、現況届、就労証明書2枚が入っています。配布した封筒に書類を入れて、封をして事務所へ提出してください。福祉課児童係の方がこども園に回収に来られます。提出する際に事務所で対応ができなかった場合には保育士へお渡しください。こども園へ提出できる期限は15日(火)までとなっています。

回収に間に合わなかった場合は直接、佐伯区福祉課児童係まで提出してください。佐伯区福祉課への提出期限は、10月31日(木)までとなっています。

10月10日は目の愛護デー ～目を大切に～

目の愛護デー

2つの10を横に倒すと、眉と目の形に見えることから10月10日は目の愛護デーとされています。近年、子どもの視力低下が多くなっています。子どもたちの視力は乳児期にとっても伸びます。「目で見る」と言いますが目はカメラでいえばレンズになり、目から入った映像を脳で判断して「見ている」のです。



子どもたちの目は、目の機能としては完成していますが、脳はまだ発達途中です。目から入った映像を脳がいろいろ判断をするようになってだんだん「見える」ようになっていきます。脳が育つためには両目でしっかり映像を捉えていくことが大切です。

<見る力を育てるポイント>

- 明るさ、暗さのメリハリのある生活をする…日中は光を浴び、夜は暗くして眠る
- 広い空間で体と目を動かす機会を作る…全身運動は眼球、視神経、脳の発達を促します
- いろいろなものを見る体験をする…止まっているもの-動いているもの、小さなもの-大きなもの、近くにあるもの-遠くにあるものなどいろいろなものを見る体験が目の良い刺激となります
- テレビやゲームは時間を決めてする…狭い範囲の平面な映像を見続けることは目の負担になります

朝晩の冷え込みがあり、厚着をしてしまいがちですが子どもの体温は大人よりも高く、日中は活動していると暑くなってしまふことも多いです。登降園時に肌寒い場合は厚い衣服を着るのではなく羽織る上着を着用し、園内では薄着で過ごしていけるよう衣服の調節をお願いします。

☆薄着の良いところ

- ①体温調節機能が育ちます…厚着をしていると気温の変化を直接、肌で気づきにくくなります。暑さや寒さを感じることで気温への防御反応が高まります。
- ②風邪をひきにくくなります…薄着だと外気温の変化をとらえる皮膚感覚や自律神経が鍛えられ免疫力が強くなります。
- ③体の動きを活発にする…薄着なことで体を動かしやすく、遊びや活動に活発に参加できます。厚着だと動きにくくなってしまふこともあります。また、肌着を着る、子どもが自分で着脱しやすい素材や形の衣服がいいですね。



個人差や健康状態もありますので子どもの様子に合わせることも大切です。